

府道路照明灯まるごとLED化のためリース方式を採用した理由

- LED道路照明は従来のナトリウム灯に比べ、省エネ・低維持コストだが、初期導入コストは割高…

⇒従来の買取りによる導入では全LED化に20年以上かかる。



- LED道路照明の省エネ効果を早期に発現するため、低減コストを原資としたリース方式を導入！

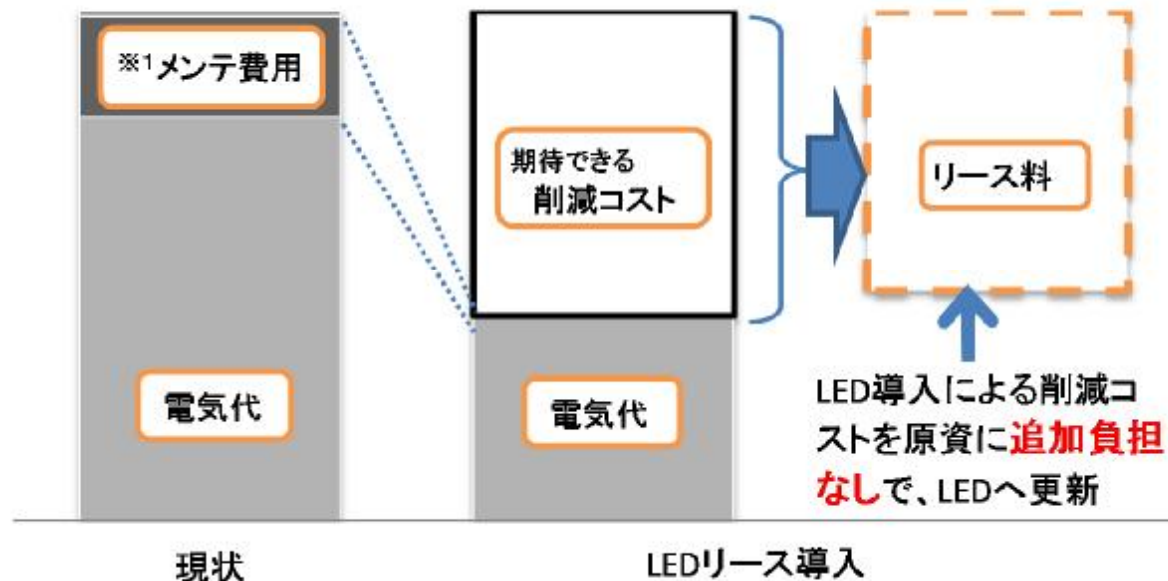
LED道路照明リース契約のしくみ

- LED道路照明リース方式導入により期待できる削減コスト
 - LED化による省エネ化に伴う電気代の低減分
 - リース方式により受注者が管理することによるメンテ費用の低減分



- これをリース料の原資とし、追加負担なしでLEDへ更新！

LED道路照明リースのイメージ



※1:メンテ費用は、照明柱の補修更新や事故処理などを除いたもの。

府道路照明灯まるごとLED化による効果

— 府が管理する道路照明約23,000灯のLED化により

⇒消費電力削減効果

約1,100万kWh／年

⇒CO2削減効果

約3,200t／年

と試算

— 一般家庭約2,300世帯の年間電力消費量

— 堺第7-3区太陽光発電所(メガソーラー)

の年間発電量

と同等の削減効果